

課題名：急性大動脈解離手術症例における周術期の乳酸値変化と
術後合併症および患者予後との関連に関する研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、急性大動脈解離に対して人工血管置換術を施行しています。大動脈解離は手術がうまくいった場合でも術後の臓器不全を含めた合併症が比較的多い手術です。この合併症は術後重篤な転機をたどる場合が多々あります。術後の合併症を臓器灌流障害の指標となる周術期の血清乳酸値の変化を調べることで発生防止対策を早期に取ることができる可能性があると考えます。今回の乳酸値のデータをもとに今後この手術のよりよい周術期管理と合併症軽減戦略を検討することが可能かどうかを検証することを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2016年11月から、2021年10月までの間に、心臓血管外科において急性大動脈解離に対して人工血管置換術を施行された患者さん。

◆研究に使用される情報◆

患者さんの年齢、性別、身長、体重、ASA PS (ASA physical status : アメリカ麻酔科学会における全身状態分類)、既往歴、血液検査所見、心電図、胸部レントゲン所見、胸腹部CT検査所見、喫煙歴、確定術式、実手術時間、麻酔時間、体外循環時間、脳分離時間、循環停止時間、出血量、尿量(心肺前・心肺中・心肺後)、晶質液の輸液量、膠質液の輸液量、注射薬の量、輸血量、周術期のバイタル、周術期の血液検査所見・血液ガス所見、術後合併症、患者さんの転帰、術後CCU滞在日数、術後病院滞在日数

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録や麻酔記録、術後のCCU記録、レントゲンなどの画像所見を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
麻酔科 研究責任者 佐々木 敬則

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)
(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明